



健康な体
誠実な心
豊かな知性



尾張旭市立東中学校
学校だより

平成 30 年度 第 14 号

この1年間無遅刻・無欠席の1年生76名 2年生69名の人たち、その努力を讃えます。



いつかきっといいことがある

校長 水野 茂

3月5日、220名の卒業生が巣立っていきました。卒業式にむけて、1・2年生の皆さんが、教室を飾り付けたり、胸花新聞を作って贈ったり、大切な式場をつくり学校中を念入りに掃除したり、本当によくやってくれました。そのどれもが、卒業生へのメッセージであり、しっかり届いていたと思います。卒業生からのメッセージは、式の中での所作や授与の時のしっかりした返事、届けとばかりの歌声に込められていました。

3月10日の日曜日、全国大会につながる野球の地区予選が城山球場で行われました。その日は昼前から雨が降り出し、試合は無理だろうと思い、応援に行っていませんでした。ところが、悪コンディションの中、試合は行われ、東中は対戦相手の瀬戸・水野中に逆転負けしたと後から聞き、驚きました。

次の日、水野中の校長先生より電話が入り、試合後の東中の野球部員の姿を、朝礼で生徒たちに話したと伝えてくれました。その姿とは、「試合終了後、雨に打たれながらも、東の子たちは最後まで黙々とグラウンド整備をしていた。そしてさらに整備が終わって皆が帰った後、一人残ってブラシを念入りにかける選手がいた」というもの。試合に負けての悔しさや反省など、いろいろな感情、思いが入り交じる中、すべきこと、した方がよいことを最後まで丁寧に行った姿を、その校長先生は見てくれていました。その姿は、東中の野球部が次に向けて確実に動き出した姿として目に映ったのではないかと思います。



今日で学校の一年間が終わります。この一年、クラスで、部活動で、委員会で、学年の中で、そして学校全体の呼びかけの中でしっかり動いてくれた子たちはたくさんいます。さらに先生たちの予想を超え、自分たちの判断で動いた子たちも少なくないと思います。そんな決して目立つことのない頑張りや、必ず誰かが見られています。そして、いつかきっといいことがあります。4月から始まる新しい一年、東中のすべての子たちが自分の良心に従い、自らの考えと判断で動き出すことを楽しみにしています。

中学生海外研修に

11名がチャレンジ

11名の2年生が海外研修に挑戦します。申込書からは、「研修を通して成長したい」「一歩踏み出してみたい」「生きた英語にふれてみたい」など、それぞれの「チャレンジ」が伝わってきます。11名の生徒たちは、この後、4月13日の「選考(作文・面接)」に挑みます。頑張ってください！このチャレンジは、絶対に無駄にはなりません。そして、もうすでに成長しているはずです。



入学式準備ボラに

120人超！

この人数、先生たちの予想を超えました。入学してくる新1年生のために、式場づくりや環境整備に、春休み中にもかかわらず、学校に来て力を貸してくれる子たちに感謝です。「誰かのために役に立つ」ことから始まる一年、きっといいスタートになると思います。みんなでいい準備をしましょうね。そして今回都合がつかなかった人たち、次の機会にぜひ。

第3回スマイル委員会

地域・保護者・生徒・職員の代表が集まったのスマイル委員会が20日(水)に開催されました。皆の東中学校がもっとよくなるようにと、意見交換がなされました。今回はスマホの使い方が話題の中心でした。残念ながら東中でもスマホを介したSNS関係のトラブルが頻発しています。今後、安全安心なスマホ使用や、ネット・SNS利用のマナー、ルールづくりに先生たちと生徒たちの両方から働きかけをしていこうと話がまとまりました。